

第119回国際母子カンファレンス

カンボジア

国立母子保健センターの新生児ケア —過去、現在、そして未来—

NCGMがカンボジアの国立母子保健センターで新生児分野の技術協力を始めて20年以上が経ちました。

今回は最初のチーフアドバイザーである山田多佳子先生、歴代の日本人専門家とともに同センターの新生児ケアを牽引してきたソディー医長、NCGMの国際レジデント研修生として活動した飯竹先生が同センターにおける新生児ケアについてお話しします。

日時：2014年3月12日（水）18:00 – 20:00

場所：国立国際医療研究センター 研修センター5階 大会議室

「電気のない国でできる新生児医療」

山田 多佳子先生

JICAカンボジア母子保健プロジェクト初代リーダー／
現デンマークイン新宿施設長

「2014年の新生児医療の現状」

Seang Sody 先生

カンボジア母子保健病院 新生児室科 医長

「未来に向かって—カンボジアのおかあさんと赤ちゃんたちのために」

飯竹 千恵先生

NCGM国際医療協力局／小児科レジデント



講演の前に、産科、小児科、国際医療協力局母子グループからのマンスリーレポートがあります。

主催：国際母子タスクフォース（協賛：医薬会）